

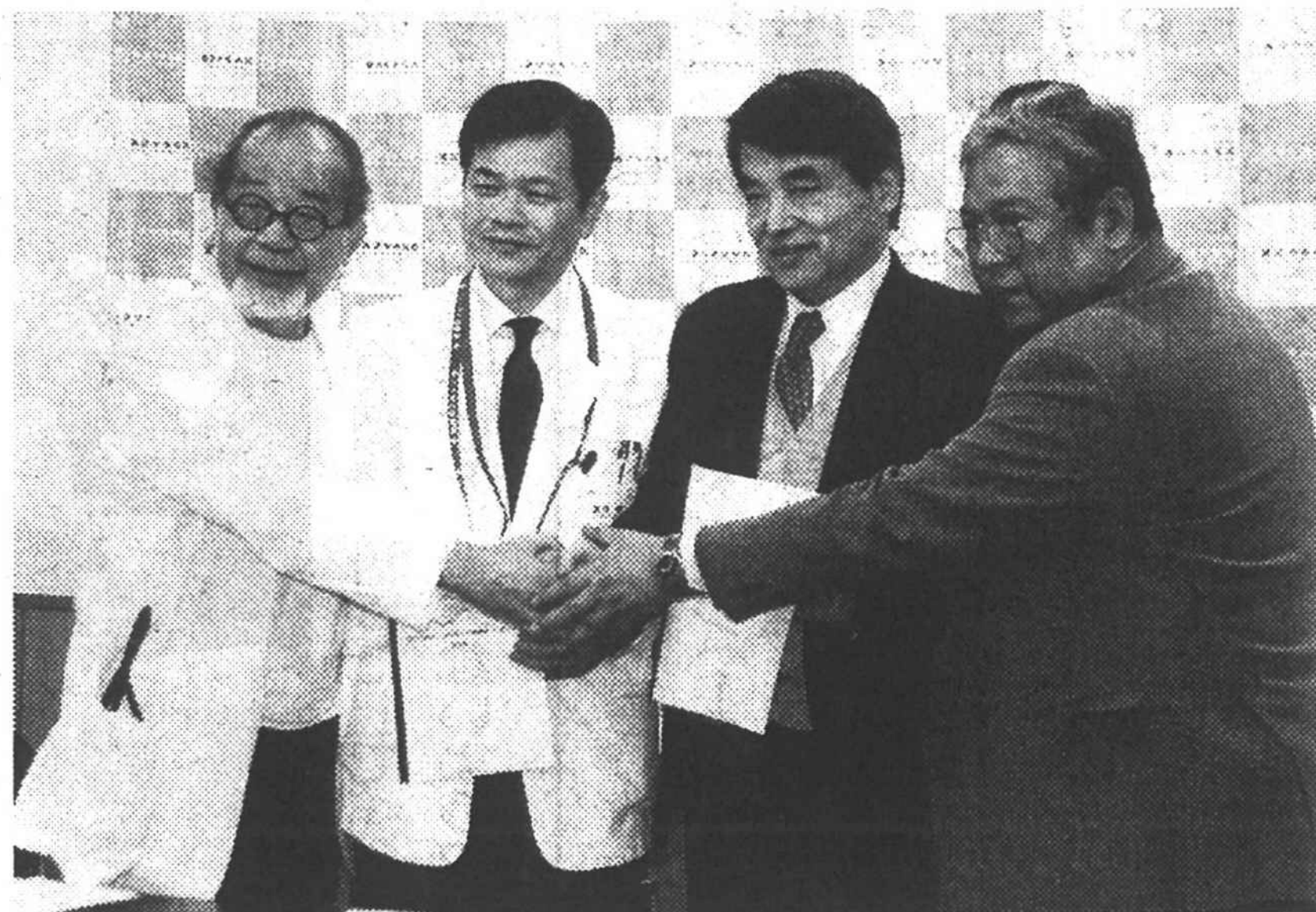
発行所
〒391-0003 茅野市本町西1の6
茅野市民新聞社
編集・発行人 薩摩 建
電話 代表 72・5222
FAX 73・0222
インターネットページ
www.shimin.co.jp
E-mail
chino@shimin.co.jp
©茅野市民新聞社 2019年
定価 1ヵ月 1,320円
1部売り 50円 (税込み)
本紙をお届けする販売店
信ふれあいネット茅野 ☎72・4198
小林新聞店 ☎79・2451
コンビニもご利用ください

災害時円滑な医療支援へ

連携協力の協定締結

諏訪中央病院とAMD A

諏訪中央病院は14日、大規模災害時に被災地に医師、看護師などを派遣支援している国際医療ボランティア団体「AMD A（アマダ）」（本部・岡山県）と連携協力に関する協定を締結した。南海トラフ巨大地震や諏訪地域などで災害が発生した場合、相互に緊急医療チームを派遣し合い、円滑な医療支援活動ができるよう備えた。



協定を交わした吉澤院長（左から2人目）とアマダの菅波理事長（左から3人目）

話が持ち上がった。協定は近畿、四国地方を中心に1府5県と取り

急医療チームを派遣▽活動経費はアマダが負担▽平時も人材交流するーなどを盛った。有

交わっていて、同院が21施設目。県内は同院のみという。

協定書には▽被災地での医療支援活動に緊急医療チームを派遣▽

効期間は2020年3月31日。協定締結により、南海トラフ巨大地震が発生した場合、同院の派遣チームは茅野市の姉妹都市、岡山県総社市まで移動、同団体の指揮命令下に入って支援活動を行う。諏訪地域で災害があった場合は相互扶助で支援を受けるといふ。

田名菅院長と吉澤徹院長、アマダの菅波理事長らが出席。菅波理事長は「地震の影響の少ない地域から来てもらえるので心強い。国の保健医療が使えるようになり、今後さまざまな対応が可能になるだろう」と期待。

災害時に動けなかった。職員の誇り、モチベーションを生かす協定。万一のときは全力で支援したい」と話した。鎌田名菅院長も「諏訪地域にはフォッサマグナのリスクもある。遠隔地との新しい支援体制ができた。万一のとき、早く、長く、良い支援ができれば」と話していた。

吉澤院長は「DMA（災害派遣医療チーム）のない病院のため、

た。万一のとき、早く、長く、良い支援ができれば」と話していた。